

2019年7月16日

各 位

会 社 名 日創プロニティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 石田 徹
(コード：3440 東証第二部・福証)
問合せ先 取締役経営企画室長 諸岡 安名
(TEL 092-552-3749)

(追加)「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」

開示いたしました「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の添付資料（最近の決算情報等）が漏れておりましたので、再度提出いたします。

2019年7月16日

各 位

会 社 名 日創プロニティ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 石田 徹
 (コード：3440 東証第二部・福証)
 問合せ先 取締役経営企画室長 諸岡 安名
 (TEL 092-552-3749)

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2019年7月16日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2019年8月期（2018年9月1日～2019年8月31日）における当社の連結業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおり（添付資料は2019年7月12日に公表済みの資料です。）であります。

記

【連結】

(単位：百万円・%)

	2019年8月期 (予想)			2019年8月期 第3四半期連結累計期間 (実績)		2018年8月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率
売上高	13,000	100.0	52.5	10,920	100.0	8,523	100.0
営業利益	1,760	13.5	62.6	1,870	17.1	1,082	12.7
経常利益	1,780	13.7	61.3	1,890	17.3	1,103	13.0
親会社株主に帰属 する当期(四半期) 純利益	1,180	9.1	43.1	1,259	11.5	824	9.7
1株当たり当期 (四半期)純利益	183.67			196.11		128.38	
1株当たり配当金	25円00銭			—		30円00銭 (普通配当25円00銭) (特別配当5円00銭)	

【2019年8月期連結業績予想の前提条件】

(当社グループ全体の見通し)

当社グループは、当社及び連結子会社4社の計5社で構成され、金属加工事業、ゴム加工事業及び建設事業といった3セグメントに事業内容を区分しております。

当社グループでは、主力の金属加工事業において、太陽光発電所向けの太陽電池アレイ支持架台の売上高が同事業セグメント売上高の6割程度を占めております。主たる販売製品である太陽電池アレイ支持架台については、F I Tの設備認定を受けた2,000kW以上の太陽光発電所のうち72%程度がまだ設備導入に至っていないため、一定規模の市場を形成していると考えております(注)。また、F I Tの設備認定を受けた太陽光発電所の設備導入量は、ここ数年年間1,500MW程度で推移しており、この傾向は当面続いていくものと考えております。その他、ゴム加工事業及び建設事業の市場環境についても、大幅な変動はないものと考えております。

当社グループの2019年8月期における業績については、上期の実績及び下期の見込みを踏まえ、2019年4月12日の取締役会において予算の上方修正決議を行い、売上高13,000百万円(前期比52.5%増)、営業利益1,760百万円(同62.6%増)、経常利益1,780百万円(同61.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,180百万円(同43.1%増)を見込んでおります。

(注) 2018年12月末現在、F I Tの設備認定量24,324MWに対して、設備導入量は6,792MW(27.9%)であり、17,533MW(72.1%)の導入余力を有しております。

出所：資源エネルギー庁「固定買取価格制度 情報公表用ウェブサイト」

(売上高)

金属加工事業につきましては、太陽電池アレイ支持架台の受注残高や今後の需要動向から実現可能性が高いと見込まれる案件を積み上げ、その他の製品については、每期安定した受注があることから過年度の実績程度を見込んで売上計画を策定しております。2019年8月期における売上高は、前期2017年3月に子会社化した株式会社ダイリツの業績が通期で寄与していく点も考慮し、9,593百万円(前期比56.0%増)を見込んでおります。

ゴム加工事業につきましては、建設関連、土木関連、工業関連、自動車関連等の各種業界向けの製品が堅調に推移する見通しであり、2019年8月期における売上高は、1,256百万円(前期比3.2%増)を見込んでおります。

建設事業につきましては、金属加工事業との連携による材工一括受注により、太陽電池アレイ支持架台や各種金属パネルの設置工事が好調に推移する見通しであり、2019年8月期における売上高は、2,150百万円(前期比86.4%増)を見込んでおります。

以上により、全体としては前期比52.5%増の13,000百万円を見込んでおります。

(売上原価、売上総利益)

売上原価につきましては、大型案件については個別案件ごとに材料費、外注加工費を積み上げ、大型案件以外については、過年度の実績から算出した原価率を用いて材料費、外注加工費を算定しております。また、労務費は人員計画に従い7名の増員見込みに基づき算定した金額を、減価償却費は設備投資計画及び既存固定資産の減価償却費の計上予定金額を、人材派遣費は売上予算から想定される必要人員に基づき算定した金額を、その他の製造経費は過年度の実績に基づき算定した金額をそれぞれ計上しております。

以上により、売上総利益は全体として前期比45.7%増の3,214百万円を見込んでおります。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

運賃及び荷造費については、大型案件については個別に見積もり、大型案件以外については過年度の実績率を用いて算定しております。

その他の販売費及び一般管理費については、労務費は人員計画に従い5名の増員見込みに基づき算定した金額を、減価償却費は既存固定資産の減価償却費の計上予定金額を、その他の経費は過年度の実績に基づき算定した金額をそれぞれ計上しております。

以上により、営業利益は全体として前期比62.6%増の1,760百万円を見込んでおります。

(営業外収益・営業外費用、経常利益)

営業外収益につきましては、受取利息、家賃収入及び雑収入を過年度の実績に基づき算定しております。

営業外費用につきましては、支払利息及び雑損失を資金計画及び過年度の実績に基づき算定しております。

以上により、経常利益は全体として前期比61.3%増の1,780百万円を見込んでおります。

(特別利益・特別損失)

特別利益及び特別損失については見込んでおりません。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

法人税等につきましては、税金等調整前当期純利益に法人税の実効税率を乗じて算定しており、通期では前期比43.1%増の1,180百万円を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

2019年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月12日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 福
 コード番号 3440 URL <https://www.kakou-nisso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-552-3749
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第3四半期の連結業績（2018年9月1日～2019年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	10,920	127.7	1,870	249.8	1,890	243.2	1,259	195.9
2018年8月期第3四半期	4,795	3.5	534	△15.9	550	△17.3	425	△2.2

(注) 包括利益 2019年8月期第3四半期 1,255百万円 (195.9%) 2018年8月期第3四半期 424百万円 (△3.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第3四半期	196.11	195.43
2018年8月期第3四半期	66.27	—

(注) 2018年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第3四半期	14,829	9,012	60.6
2018年8月期	12,447	7,929	63.7

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 8,992百万円 2018年8月期 7,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年8月期	—	0.00	—		
2019年8月期（予想）				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年8月期の連結業績予想（2018年9月1日～2019年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	52.5	1,760	62.6	1,780	61.3	1,180	43.1	183.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年8月期3Q	7,360,000株	2018年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	2019年8月期3Q	935,350株	2018年8月期	935,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年8月期3Q	6,424,650株	2018年8月期3Q	6,424,650株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意が必要な状況が続く中、企業収益は高い水準で底堅く推移しており、設備投資は機械投資に弱さがみられるものの緩やかな増加傾向で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画に基づいて事業領域の拡大を継続し、積極的な営業活動に取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,920百万円（前年同四半期比127.7%増）、営業利益は1,870百万円（同249.8%増）、経常利益は1,890百万円（同243.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,259百万円（同195.9%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属加工事業)

太陽電池アレイ支持架台の大型案件が好調に推移したことや新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組んだ結果、売上高は8,269百万円（前年同四半期比146.8%増）、セグメント利益は1,563百万円（同178.6%増）となりました。また、受注高は6,526百万円（同9.5%減）、受注残高は3,270百万円（同50.5%減）となりました。

(ゴム加工事業)

新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、建設関連、土木関連、工業関連、自動車関連等の各種業界向けの製品が堅調に推移し、売上高は936百万円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益は155百万円（同0.8%増）となりました。また、受注高は932百万円（同1.4%減）、受注残高は78百万円（同4.7%減）となりました。

(建設事業)

グループ間の情報連携を図り、材工一括受注を掲げ営業活動に取り組んだことや既存案件の追加工事を複数受注した結果、売上高は1,714百万円（前年同四半期比235.1%増）、セグメント利益は416百万円（同595.2%増）となりました。また、受注高は1,393百万円（同35.6%減）、受注残高は1,143百万円（同33.5%減）となりました。

(注) セグメント利益の合計額と営業利益との差異△265百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は11,492百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,479百万円増加いたしました。これは主に、大型案件を中心とした好調な業績推移と売上債権の期日回収により、現金及び預金が1,025百万円、受取手形及び売掛金が1,487百万円、完成工事未収入金が324百万円それぞれ増加し、電子記録債権が434百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が115百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は14,829百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,381百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,391百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,261百万円増加いたしました。これは主に、大型案件対応に伴う一時的な資金需要により短期借入金が1,135百万円増加したこと及び未払法人税等が131百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,425百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は5,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,299百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,082百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が1,067百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.6%（前連結会計年度末は63.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年4月12日の「第2四半期業績予想との差異及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,038,169	4,063,927
受取手形及び売掛金	3,464,456	4,952,152
電子記録債権	1,007,327	573,290
完成工事未収入金	169,280	493,441
商品及び製品	274,420	187,025
仕掛品	619,253	623,764
未成工事支出金	3,095	178,535
原材料及び貯蔵品	387,849	384,264
その他	49,105	37,386
貸倒引当金	△49	△1,718
流動資産合計	9,012,909	11,492,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	978,884	937,322
機械装置及び運搬具(純額)	982,446	865,549
土地	988,368	988,368
リース資産(純額)	122,744	94,638
建設仮勘定	10,152	89,400
その他(純額)	38,135	29,747
有形固定資産合計	3,120,731	3,005,025
無形固定資産		
のれん	117,739	90,648
その他	47,972	134,804
無形固定資産合計	165,711	225,452
投資その他の資産		
投資有価証券	69,192	48,475
その他	83,240	62,082
貸倒引当金	△3,820	△3,820
投資その他の資産合計	148,613	106,737
固定資産合計	3,435,056	3,337,216
資産合計	12,447,965	14,829,285

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	481,295	382,588
工事未払金	125,194	178,886
短期借入金	1,435,000	2,570,000
1年内返済予定の長期借入金	216,122	193,253
未払法人税等	288,643	419,874
賞与引当金	17,474	66,194
その他	566,867	580,984
流動負債合計	3,130,598	4,391,781
固定負債		
長期借入金	744,412	694,490
退職給付に係る負債	79,499	84,569
資産除去債務	98,826	98,549
その他	464,741	547,786
固定負債合計	1,387,479	1,425,395
負債合計	4,518,078	5,817,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	6,398,341	7,465,564
自己株式	△747,361	△747,361
株主資本合計	7,924,916	8,992,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,971	32
その他の包括利益累計額合計	4,971	32
新株予約権	—	19,937
純資産合計	7,929,887	9,012,108
負債純資産合計	12,447,965	14,829,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
売上高	4,795,967	10,920,812
売上原価	3,485,748	7,968,476
売上総利益	1,310,218	2,952,336
販売費及び一般管理費	775,525	1,082,128
営業利益	534,693	1,870,207
営業外収益		
受取利息	128	58
受取配当金	1,688	2,149
受取家賃	3,706	3,896
受取補償金	7,616	8,513
補助金収入	2,832	1,131
解約返戻金	—	7,450
その他	9,395	9,155
営業外収益合計	25,367	32,353
営業外費用		
支払利息	4,293	10,328
保険解約損	1,820	—
匿名組合投資損失	3,156	1,612
その他	0	248
営業外費用合計	9,270	12,189
経常利益	550,790	1,890,371
特別利益		
固定資産売却益	—	129
投資有価証券売却益	2,561	—
負ののれん発生益	76,145	—
特別利益合計	78,707	129
特別損失		
固定資産売却損	—	917
固定資産除却損	355	—
投資有価証券売却損	—	2,165
特別損失合計	355	3,083
税金等調整前四半期純利益	629,142	1,887,417
法人税、住民税及び事業税	209,728	597,155
法人税等調整額	△6,331	30,300
法人税等合計	203,397	627,456
四半期純利益	425,745	1,259,961
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	425,745	1,259,961

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	425,745	1,259,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,620	△4,938
その他の包括利益合計	△1,620	△4,938
四半期包括利益	424,124	1,255,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	424,124	1,255,023
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年9月1日至2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工事業 (注) 1	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,350,412	934,000	511,554	4,795,967	—	4,795,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	201,395	1,169	703	203,268	△203,268	—
計	3,551,807	935,170	512,258	4,999,235	△203,268	4,795,967
セグメント利益	561,324	154,572	59,902	775,798	△241,105	534,693

- (注) 1. 金属加工事業につきましては、2018年3月7日付けで、空調関連機器製造業の株式会社ダイリツを子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(2018年5月31日)としているため、同社の業績を除いて記載しております。
2. セグメント利益の調整額△241,105千円は、セグメント間取引消去31,068千円、子会社株式の取得関連費用△33,035千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,138千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)

「金属加工事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式取得により株式会社ダイリツを子会社化したことに伴い、同社を当第3四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、76,145千円であります。また、当該負ののれん発生益は、セグメント利益には含めておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,269,864	936,625	1,714,322	10,920,812	—	10,920,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,301	2,964	336	34,602	△34,602	—
計	8,301,166	939,589	1,714,659	10,955,415	△34,602	10,920,812
セグメント利益	1,563,670	155,732	416,454	2,135,857	△265,650	1,870,207

- (注) 1. セグメント利益の調整額△265,650千円は、セグメント間取引消去12,909千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△278,559千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	5,878,953	208.8
ゴム加工事業	464,713	101.6
合計	6,343,666	193.9

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	6,526,512	90.5	3,270,758	49.5
ゴム加工事業	932,241	98.6	78,621	95.3
建設事業	1,393,565	64.4	1,143,240	66.5
合計	8,852,319	85.7	4,492,620	53.4

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	8,269,864	246.8
ゴム加工事業	936,625	100.3
建設事業	1,714,322	335.1
合計	10,920,812	227.7

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
日揮株式会社	—	—	4,226,586	38.7
新日鉄住金エンジニアリング株式会社(現日鉄エンジニアリング株式会社)	535,500	11.2	—	—

前第3四半期連結累計期間の日揮株式会社については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間の新日鉄住金エンジニアリング株式会社(現日鉄エンジニアリング株式会社)については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。